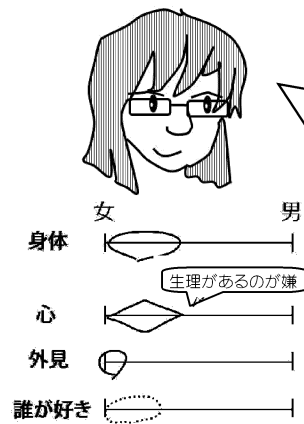


D

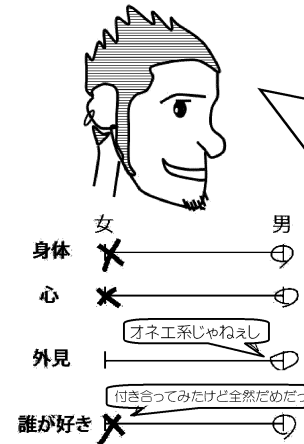
LGBTと4つの指標

性のありかたは人それぞれ、十人十色。 次の4人はどんな丸をつけるのでしょうか。



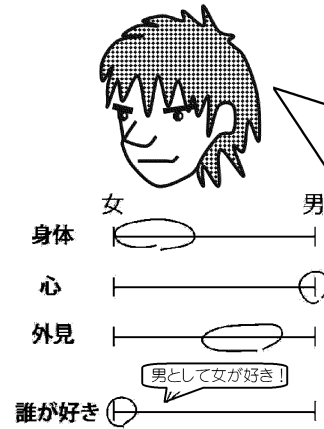
(1) Aセクシュアル寄りのレズビアン

小学校の高学年頃から、友だちが「○○君が好き」とか「△△がお前を好きだ」と言ってるがどう思っているんだ」とか言い出して、周囲は恋愛一色になった。それに違和感を持ちたりうんざりしたが、恋愛で盛り上がりえない自分は何だか心の冷たい人間に思えた。きっと男には興味が無いんだと思い、レズビアンサークルに行ったが、やはりそこでも恋愛を中心に回っていた。同性であれ異性であれ恋愛万歳なのは何故だ！としんどくなった。そんな時Aセクシュアルという言葉を知った。私の場合、興味を持った人の考え方や行動を知りたい気持ちが大きく、性的な感情は持たない。また、性的な関係も極力避けたい。これまで興味を持った人は女性ばかりなので、私はAセクシュアル寄りのレズビアンと名乗っている。



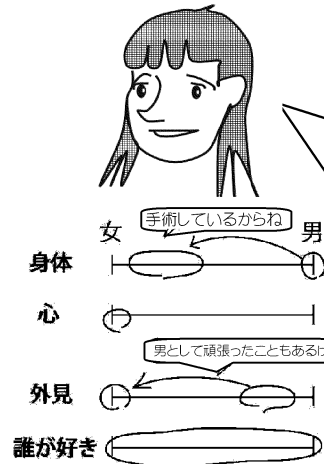
(2) ゲイ

小学校の頃、クラスメイトの男の子に告白したら断られた。次の日には「オカマきもい」と黒板に書かれ、いじめが始まり、告白したことをすぐ後悔した。逃げるように遠い地域の私立中学に進学した。またいじめられないように、好きでもない女の子と付き合ったりして頑張った。テレビでは「オカマキャラ」が笑いものにされていて、家族もそれを見るたびに気持ち悪いと言っていたから、自分の事は絶対に言えなかった。将来の自分を想像できなくて何度も自殺を考えた。そんな時、同級生からゲイであることをカムアウトされて、悩んでいるのは自分だけじゃないんだと嬉しかった。それからゲイの集まりに参加するようになってやっと自分を肯定できた気がする。なんだか楽しくなってきた、彼氏がほしいと思う今日この頃。



(3) FTM/ヘテロセクシュアル

小さい頃から外で遊ぶのが大好きで男友達とつるんではサッカーや野球をしてた。男の子に間違えられることが多くてなんだか嬉しかった。大きくなったら自分にもチンコが生えてくると思ってたけど、残念ながら生えず。小学校の頃、女の子を好きになり、それを友達に言うとレスだってからかわれて悲しかった。中学校に入ると女の子に告白されて付き合い、自分はレズビアンなのだと思っていた。でも性同一性障害のことをテレビで観て、これだ！と思った。僕は自分のことを男だと思う。だから僕にとって女の子は同性ではなく、異性なんだ。その後、いろんな人にとって話を聞いて悩んだけれど、今は性別適合手術はしない。僕はこの身体のままでも自分を男だと思えるから。



(4) MTF/バイセクシュアル

よく性同一性障害の人は小さい頃から男である自分に違和感があったと言うけれど、私の場合は、女性と結婚して子どもができてから。思い返してみたらその気持ちをずっと感じないようにしていたのかも。お父さんが性別を変えて、二人のお母さんがいるという家庭もあるけれど、私の場合は離婚となりました。今は性別適合手術をすませて女性として暮らしています。私は女性も男性も好きです。周囲からは「我慢して父親として生きるべきだ」とか、逆に「自分らしい生き方を貫いて素晴らしい」とか言われるけれど、どちらが正しいのかわかりません。それでも思い悩んだ結果が今の私。これからは二人の子どもと三人の生活を大事にしていきたいと思います。

オススメ本やDVD

- 自伝やエッセイ
 - 「男でも女でもない性・完全版インターセックス（半陰陽）を生きる」（橋本 秀雄／青弓社）
 - 「先生のレズビアン宣言つながらるためのカムアウト」（池田久美子／かもがわ出版）
 - 「ボクの彼氏はどこにいる？」（石川大我／講談社）
 - 「変えていく勇氣ー「性同一性障害」の私から」（上川あや／岩波新書）
 - 「トランスジェンダーフェミニズム」（田中玲／インパクト出版会）
 - 「カミングアウト・レターズ」（RYOJI+ 砂川秀樹編／太郎次郎社エディタス 2007年）
 - 「トランスがわかりません！～ゆらぎのセクシュアリティ考」（ROS /アットワークス）
- まんが
 - 「LOVE MY LIFE」（やまじえびね／祥伝社）
 - 「ハニー&ハニー」（竹内佐千子／メディアファクトリー）

- 「IS～男でも女でもない性」（六花ちよ／講談社コミックステザート）
- 「オッパイをとったカレシ。」（芹沢由紀子／講談社コミックス Kiss）
- 「きのう何食べた？」（よしながふみ／モーニング KC）
- 「ニューヨーク・ニューヨーク」（羅川真里茂／白泉社）
- 絵本
 - 「タンタンタンゴはパパふたり」（文：ジャスティン・リチャードソン&ピーター・パーネル／ポット出版）
- 映画
 - ・「ハッシュ」
 - ・「ロバートイーズ」
 - ・「MILK」
 - ・「トランスアメリカ」
 - ・「Boys don't cry」
 - ・「オールアバウト・マイマザー」
 - ・「ブロークバックマウンテン」
 - ・「Woman Loves Woman」

電話相談

性別に違和感がある…／もしかしたら同性が好きかも？／「女っばい」って言っくいじめられる／同性の恋人が出来た！誰にも言えなくてしんどい！／身体の事で悩みがある／友達にカムアウトされて…

LGBTI(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、インターセックス)とその友人や家族のための電話相談をしています。お気軽にお電話ください。

毎月第1月曜日 19:30~22:30
電話相談専用番号 06-6377-5447

♪カラフルって？♪

「カラフル」は、LGBTIなどのユース(23歳以下の若者)を応援するプロジェクトです。「～かもしれない」と思う人の参加も大歓迎。ちょっとくらい23歳を過ぎてても、まあ大丈夫。2ヶ月に1回イベントをしています。1回だけの参加もOK！参加費は無料です。友だち作りに、気軽に来てね★

<http://www.qwrc.org/>

